

平成23年度

学生募集要項

一般入試（前期日程・後期日程）



○平成23年度一般入試日程

区 分	一 般 入 試	
	前 期 日 程	後 期 日 程
出 願 期 間	平成23年 1月24日(月) ~ 2月 2日(水)	
入 学 試 験 日	平成23年 2月25日(金)	平成23年 3月12日(土)
合 格 発 表 日 時	平成23年 3月 6日(日) 10時	平成23年 3月23日(水) 10時
入 学 手 続 日	平成23年 3月14日(月) 3月15日(火)	平成23年 3月26日(土) 3月27日(日)
入 学 日	平成23年 4月 1日(金)	

目 次

大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッションポリシー（入学者受入方針）	
および教育研究上の目的	1
各学科が求める学生像	2
募集学部・学科及び募集人員総表	4
一 般 入 試	
1 募集学部・学科及び募集人員	5
2 入試実施方式及び募集方法	5
3 出願資格	6
4 出願手続	6
5 入試方法等	9
6 合格者の発表	19
7 入学手続等	19
8 欠員補充	20
9 個人情報の取扱い	21
入試情報開示	
1 解答例の公開について	22
2 最高点、最低点、平均点の公開について	23
3 個人成績の開示について	23
東京海洋大学入学試験情報開示申請書	24
東京海洋大学学生寮のお知らせ	25

大学の理念，大学の人材養成と目標，アドミッションポリシー（入学者受入方針）および教育研究上の目的

東京海洋大学は、大学の理念，大学の人材養成と目標，アドミッションポリシー（入学者受入方針）および教育研究上の目的を次のように掲げています。

大学の理念

人類社会の持続的発展に資するため、海洋を巡る学問及び科学技術に係わる基礎的・応用的教育研究を行う。

大学の人材養成と目標

我が国が海洋立国として発展し、国際貢献の一翼を担っていくためには、国内唯一の海洋系大学である東京海洋大学が、「海を知り、守り、利用する」ための教育研究の中心拠点となって、その使命を果たす必要がある。このような基本的観点に立ち、本学は、研究者を含む高度専門職業人養成を核として、海洋に関する総合的教育研究を行い、次の能力・素養を有する人材を養成する。

- 一 海洋に対する科学的認識を深化させ、自然環境の望ましい活用方策を提示し、実践する能力
- 二 論理的思考能力，適切な判断力，社会に対する責任感をもって行動する能力
- 三 現代社会の大局化した諸課題について理解・認識し，対応できる実践的指導力
- 四 豊かな人間性，幅広い教養，深い専門的知識・技術による課題探求，問題解決能力
- 五 国際交流の基盤となる幅広い視野・能力と文化的素養

アドミッションポリシー（入学者受入方針）

海洋とその利用および地球環境問題に興味と関心を持ち、自らが問題を見つけ解決する意欲と行動力を持つ学生を求める。

教育研究上の目的

海洋科学部においては、海洋、湖沼、河川に生息する多種多様な生物と人間との共存、地球環境、食糧等の問題に関心を持ち、これらに係る諸課題を追求し、解決するための行動力を持つ人材としての専門職業人を養成するとともに、これらの諸課題に関わる基礎から応用に至るまでの研究を行うことにより、人類・社会の発展に貢献することを教育研究上の目的とする。

海洋工学部においては、海、船、物流等の問題に関心を持ち、これらに係る諸課題の理解と解決に必要な高度な技術を身に付け、国際的にも活躍できる人材としての専門職業人を養成するとともに、これらの諸課題に関わる基礎から応用に至るまでの研究を行うことにより、人類・社会の発展に貢献することを教育研究上の目的とする。

各学科が求める学生像

海洋科学部

《海洋環境学科》

海洋環境学科では、海洋における諸現象を観測・解析・予測する海洋学を基礎として、これを海洋環境保全・修復の科学・技術へと発展させる海洋環境学を教育・研究しています。本学科は、海洋生物学、水圏環境化学、環境システム科学、環境テクノロジー学の4つの専門分野で構成されています。海洋生物の生活史・生態・環境との関わり、水産資源の持続的有効利用、環境と人間に調和した海洋生産システム、物質循環、人類起源の汚染物質の挙動、沿岸・沖合相互作用、大気・海洋の相互作用、気候変動等に興味のある学生を求めています。

《海洋生物資源学科》

海洋生物資源学科では、河川・湖沼から磯や海浜、そして沿岸・沖合から深海に生きる生物を対象として、生態系のなかでの多様性を保全しつつ、持続的に利用するための「生命科学」と「資源生物学」について幅広く教育・研究しています。その内容は遺伝子、細胞、個体レベルから、集団、生態系レベルまでをカバーしています。水に生きる動植物をつくり育てるための生理、病理、遺伝育種、バイオテクノロジー、そして生物多様性に配慮して資源を増やし、守りながら利用するために、その生態や変動、維持の仕組みを学び、技術として応用することに興味のある学生を求めています。

《食品生産科学科》

食品生産科学科では、安全で信頼性の高い食品を持続的に供給するため、食資源を化学、微生物学、物理学、工学的な手法を用いて余すことなく利用する技術開発を行い、食品の安全性の確保・向上と新しい機能をもつ食品の開発と評価について教育・研究しています。本学科は食品保全機能学と食品品質設計学の2つの専門分野から構成されています。水産生物資源を食品として有効利用すること、食品の原料から消費に至るまでの安全性の確保・向上、食品の新しい機能開発などに興味と関心をもつ学生を求めています。

《海洋政策文化学科》

海洋政策文化学科では、政策的アプローチ、産業的アプローチ、文化的アプローチから、理論と実践における考察力と実践力を練磨するために、「海・人・社会」の望ましい関係の在り方について幅広く教育・研究しています。本学科は国際海洋政策学、海洋利用管理学の2つの専門分野から構成されています。理科系・文化系を問わず、海洋政策、海と人との共生にたいして積極的な関心を有し、また、法律、経済、人文学、海洋スポーツ、教育など、幅広い分野に興味のある学生を求めています。

海洋工学部

《海事システム工学科》

海事システム工学科では、海運をはじめ様々な産業分野で、船舶運航技術および工学的技術を通じて活躍できる人材を養成します。このため、船舶運航に必須な多国籍の運航チームを形成できる協調性と健全な倫理観を持って自ら行動できる人、船舶・自然環境・工学的技術への関心が高く、数学・物理・英語を主とした基礎学力を持った意欲的な学生を求めています。これらのことから、広い教養を身に付けているかをセンター試験で、国際的な視野を持っているかを個別試験で課す英語で判断します。更に、前期日程では数学を、後期日程では理科を課して海事システムを理解できる基礎学力を備えているかを判断して入学者を決定します。

《海洋電子機械工学科》

海洋電子機械工学科では、船舶運航関連および機械工学技術や海洋環境問題等の教育研究を行っています。これらに強い興味および関心を持ち、積極的で好奇心があり、問題解決に向けて自ら取り組む意欲を持つ学生を広く求めています。また、社会性や協調性、決断力や行動力があり、本学科での学習に必要な数学や物理等の基礎学力を有し、かつ、広い教養をもつことも重要です。

《流通情報工学科》

流通情報工学科では、わが国の衣食住を支える物流と、それを高度に機能させる情報システムについて強い関心を持っている学生や、環境対策も含めたグローバルな経済活動について広い教養と国際的な視野を持つ学生を求めています。このため、一般入試では、センター試験で幅広い教養の習得レベルを判定し、個別試験に英語を課すことで国際的な活躍の能力を検証します。更に前期日程では数学も課し、情報システムを理解する素地について判定します。AO入試では流通や情報システムに関連した模擬講義の後に小論文を課し、面接を行います。また推薦入試では小論文課題と面接により、物流・情報流・商流を意欲的に探求する能力を判定します。

なお、海洋工学部の海事システム工学科と海洋電子機械工学科には、船舶運航に関する実習があります。

募集学部・学科及び募集人員総表

学部	学 科	入学定員	募 集 人 員											私費外国人留学生
			一般入試		特別入試				アドミッション・オフィス (AO) 入試					
			前期日程	後期日程	推 薦	帰国子女	中国引揚者等子女	社会人	AO (A)	AO (B)	AO (C)	AO (D)	AO (E)	
海洋科学部	海洋環境学科	100	59②	26	8	若干名	若干名	若干名	5	2①	—	—	—	若干名
	海洋生物資源学科	70	41②	18	5	若干名	若干名	若干名	5	1①	—	—	—	若干名
	食品生産科学科	55	31②	15	4	若干名	若干名	若干名	4	1①	—	—	—	若干名
	海洋政策文化学科	40	25①	11	—	若干名	若干名	若干名	3	1	—	—	—	若干名
	水産教員養成課程	10												—
	小 計	275	156⑦	70	17	若干名	若干名	若干名	17	5③	—	—	—	若干名
海洋工学部	海事システム工学科	65	36	14	6	—	—	—	7	2	若干名	若干名	若干名	若干名
	海洋電子機械工学科	65	34	16	6	—	—	—	7	2	若干名	若干名	若干名	若干名
	流通情報工学科	45	26	13	2	—	—	—	3	1	若干名	若干名	若干名	若干名
	小 計	175	96	43	14	—	—	—	17	5	若干名	若干名	若干名	若干名
合 計		450	252⑦	113	31	若干名	若干名	若干名	34	10③	若干名	若干名	若干名	若干名

(注1) 推薦入試は、公募制の入試です。

(注2) AO (A) は一般、AO (B) は専門高校・総合学科卒業生、AO (C) は帰国子女、AO (D) は中国引揚者等子女、AO (E) は社会人をそれぞれ対象とした入試です。

(注3) ○印の数は、水産教員養成課程の募集人員で「外数」です。

(注4) 私費外国人留学生は、上表の「入学定員」とは別に募集します。

(注5) 海洋科学部の前期日程の募集人員には、帰国子女、中国引揚者等子女及び社会人の各特別入試の募集人員を含みます。

(注6) 海洋工学部の前期日程の募集人員には、AO (C)、AO (D) 及びAO (E) の募集人員を含みます。

(注7) 海洋科学部及び海洋工学部の推薦入試、AO (A) 及びAO (B) の入学手続き者が、募集人員に満たない場合は、その数を一般入試前期日程の募集人員に加えて募集します。

一 般 入 試

1. 募集学部・学科及び募集人員

学部・学科名		募 集 人 員	
		前期日程	後期日程
海洋科学部	海洋環境学科	59名(2名)	26名
	海洋生物資源学科	41名(2名)	18名
	食品生産科学科	31名(2名)	15名
	海洋政策文化学科	25名(1名)	11名
小 計		156名(7名)	70名
海洋工学部	海事システム工学科	36名	14名
	海洋電子機械工学科	34名	16名
	流通情報工学科	26名	13名
小 計		96名	43名
合 計		252名(7名)	113名

(注) 前期日程の括弧内の人数は、水産教員養成課程の募集人員で「外数」です。水産教員養成課程は、全国各地の水産・海洋系高等学校、又は水産・海洋系の学科及びコースを持つ高等学校の教員を養成する課程です。(詳細は18ページの「5. 入試方法等(9) 海洋科学部の水産教員養成課程について」を参照)

2. 入試実施方式及び募集方法

- (1) 一般入試は、入学定員を分離・分割方式の「前期日程」と「後期日程」に分けて募集し、各試験日程ごとに合格者を決定します。
- (2) 国公立大学（国際教養大学を除く。以下同じ）・学部を志願する者は、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つ、公立大学の「中期日程」から1つの合計3つに出願できます。
ただし、2つの大学に出願する場合は、「前期—前期」、「後期—後期」、「中期—中期」のそれぞれの併願はできません。
- (3) 本学の前期日程の各学部・学科と後期日程の各学部・学科との学内併願は、すべて可能です。
なお、本学の前期日程に出願する者は、他の国公立大学・学部の前期日程に出願することはできません。また、本学の後期日程に出願する者は、他の国公立大学・学部の後期日程に出願することはできません。
- (4) 本学を含む国公立大学・学部の推薦入試及びAO入試の合格者は、当該大学の定める入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合を除いて、本学の一般入試を受験しても合格者とはなりません。
- (5) 前期日程試験に合格し、平成23年3月15日(火)までに国公立大学に入学手続を行った者は、本学後期日程試験に出願済みで受験してもその合格者とはなりません。

3. 出願資格

本学の一般入試に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者で、かつ、平成23年度大学入試センター試験で、本学が指定した教科・科目（9、10ページの「5. 入試方法等(1) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目」を参照）を受験した者に限ります。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成23年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成23年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成23年3月31日までにこれに該当する見込みの者（「平成23年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験案内」出願資格参照）

上記出願資格の(3)に該当する者のうち、入学資格認定を必要とする者は、個別の入学資格審査が必要となります。大学入試センター試験出願の際、他大学の入学資格審査を受けた者で、その後本学に志望変更した者については、下記の申請期限までに申請してください。なお、申請要件、申請書類等の詳細については下記へ照会し確認してください。

- ① 申請期限 平成23年1月20日（木）まで [必着]
- ② 照会先 〒108-8477 東京都港区港南4-5-7 東京海洋大学入試課入試第一係
TEL 03-5463-0510

4. 出願手続

(1) 出願方法

- ① 出願書類等は、この要項に添付されている「入学願書送付用封筒」に一括封入し、必ず **速達書留** で郵送してください。

受付期間：平成23年1月24日（月）～ 2月2日（水）17時まで [必着]

ただし、平成23年1月31日（月）までの発信局消印のある「速達書留」は、受付期間後に到着した場合でも受理します。なお、受付は郵送受付に限りますので、注意してください。

- ② 本学の前期日程と後期日程の2つの日程の入学試験に併願する場合は、それぞれの日程の入学試験に関する所定の封筒に入れて別々に郵送してください。

(2) 送付先

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7 東京海洋大学入試課入試第一係

(3) 提出書類等

提出書類等		摘 要
①	入学志願票	本学所定の用紙に必要事項を漏れなく記入してください。 入学志願票の大学入試センター試験成績請求票貼付欄には、前期日程出願者は「前」国公立前期日程用」、後期日程出願者は「後」国公立後期日程用」の成績請求票を貼ってください。(成績請求票の再発行を受けた者は、再発行された成績請求票を貼ってください。)
②	受験票	写真は出願前3か月以内に撮影した縦4cm、横3cm(上半身、無帽、正面向)のものを貼ってください。
③	写真票	
④	調査書	文部科学省所定の様式により出身学校長が作成したものです。 なお、外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格(フランス共和国)取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び高等学校卒業程度認定試験合格者については、当該試験等の成績証明書等が調査書の代わりになります。
⑤	健康診断書	海洋工学部海事システム工学科及び海洋電子機械工学科に出願する者は、17ページの海洋工学部の健康診断基準を確認した上で、健康診断を受診し、本学所定の用紙により出願日前3か月以内に医師が作成し、厳封したものを提出してください。(海洋科学部全学科及び海洋工学部流通情報工学科に出願する者は提出する必要はありません。)
⑥	検定料	本学所定の「振込依頼書」により、検定料17,000円を最寄りの金融機関窓口(郵便局は除く。)で振り込んでください。なお、振込手数料は、志願者の負担になります。 振込後、C票「納付証明書」を入学志願票の納付証明書貼付欄に貼ってください。
⑦	あて名票	本学所定の用紙に合格通知書の受信場所の郵便番号、住所、氏名を明記してください。
⑧	成績証明書、高等学校卒業程度認定試験(合格・成績)証明書	該当者のみ提出(④調査書を参照)してください。 高等学校卒業程度認定試験合格者は、合格証明書及び合格成績証明書。ただし、高等学校等において科目を修得したことにより高等学校卒業程度認定試験の受験科目を免除された場合は、免除された科目の高等学校等の成績証明書又は調査書を併せて提出してください。
⑨	受験許可書	他の大学等に在籍する者は、当該学校の受験許可書を提出してください。
⑩	登録原票記載事項証明書	日本に居住する外国人の志願者は、市区町村の発行する登録原票記載事項証明書を提出してください。
⑪	受験票送付用封筒	受取人の郵便番号、住所、氏名を明記し、360円分の郵便切手を貼ってください。
⑫	入学願書送付用封筒	封筒表面の所定欄に必要事項を必ず記入し、提出書類を封筒裏面のチェック欄で確認した上で一括封入し、速達書留で郵送してください。

(注1) 提出された書類等に不備がある場合には、受理しません。また、受理後の出願書類等の変更は認めません。

(注2) いったん受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返却しません。

(注3) 入学志願票及び出願書類等に虚偽の記載をした場合、記載すべき事項を記載しなかった場合又は提出すべき書類を提出しなかったことが判明した場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

(注4) 前期日程・後期日程共に出願する場合、調査書等の重複する書類もそれぞれの日程ごとに提出してください。

(注5) 振込済みの検定料は、次の場合を除きいかなる理由があっても返還しません。該当者については、後日、本学が別に定める返還額を銀行振込みにより返還します。

① 検定料を振り込んだが、出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合

② 誤って検定料を二重に振り込んだ場合

- ③ 個別学力検査出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合

なお、上記①又は②に該当する場合は、速やかに入試課入試第一係（TEL 03-5463-0510）まで連絡してください。

(4) 障害等がある入学志願者との事前相談について

障害（学校教育法施行令第22条の3に定める程度）等がある入学志願者で受験上及び修学上特別な配慮を必要とする可能性のある者は、本学として特別な配慮が実施可能かどうか判断しますので、出願に先立ち事前に相談を行ってください。

① 相談の時期

平成23年1月17日（月）まで

② 相談の方法

相談内容を記載した説明書（健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁できる出身学校関係者等との面談等を行います。

③ 連絡先

・海洋科学部志願者

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7 東京海洋大学学務部入試課入試第一係
TEL 03-5463-0510

・海洋工学部志願者

〒135-8533 東京都江東区越中島2-1-6 東京海洋大学越中島地区事務室入試係
TEL 03-5245-7315

5. 入試方法等

一般入試は、大学入試センター試験の成績、個別学力検査の成績、調査書等及び健康診断（海洋工学部海事システム工学科及び海洋電子機械工学科志願者に限る。）の結果を総合して判定します。

(1) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

① 前期日程

学部・学科名		受験を要する教科・科目名
海洋科学部	海洋環境学科	国語（国 1科目） 地歴（世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1科目）又は } 計1科目 公民（現社, 倫, 政経から1科目） 数学（数I, 数I・数Aから1科目）及び } （数II, 数II・数B, 工, 簿, 情報から1科目）の計2科目 理科（理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから2科目） 外国語（英, 独, 仏, 中, 韓から1科目）【5教科7科目】
	海洋生物資源学科	
	食品生産科学科	
海洋科学部	海洋政策文化学科	国語（国 1科目） 地歴（世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1科目）又は } 計1科目 公民（現社, 倫, 政経から1科目） 数学（数I, 数I・数Aから1科目）及び } （数II, 数II・数B, 工, 簿, 情報から1科目）の計2科目 理科（理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから2科目） 外国語（英, 独, 仏, 中, 韓から1科目）【5教科7科目】 ----- 上記による選択のほか、下記による選択も可能です。 国語（国 1科目） 地歴（世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1科目） 公民（現社, 倫, 政経から1科目） 数学（数I, 数I・数Aから1科目）及び } （数II, 数II・数B, 工, 簿, 情報から1科目）の計2科目 理科（理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1科目） 外国語（英, 独, 仏, 中, 韓から1科目）【6教科7科目】
海洋工学部	海事システム工学科	国語（国 1科目） 地歴（世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1科目）又は } 計1科目 公民（現社, 倫, 政経から1科目） 数学（数I, 数I・数Aから1科目）及び } （数II, 数II・数B, 工, 簿, 情報から1科目）の計2科目 理科（理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから2科目 } [ただし、理総A, 理総Bの両方を選択することはできない。] 外国語（英, 独, 仏, 中, 韓から1科目）【5教科7科目】
	海洋電子機械工学科	
	流通情報工学科	

② 後期日程

学部・学科名		受験を要する教科・科目名	
海洋科学部	海洋環境学科	数 学 (数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1科目) 及び (数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1科目) の計2科目 理 科 (物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰから1科目) 外国語 (英, 独, 仏, 中, 韓から1科目)	【3教科4科目】
	海洋生物資源学科		
	食品生産科学科		
	海洋政策文化学科	数 学 (数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1科目) 及び (数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1科目) の計2科目 地 歴 (世B, 日B, 地理Bから1科目) 又は 公 民 (現社, 倫, 政経から1科目) 又は 理 科 (物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰから1科目) 外国語 (英, 独, 仏, 中, 韓から1科目)	計1科目 【3教科4科目】
海洋工学部	海事システム工学科	国 語 (国 1科目) 又は 地 歴 (世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1科目) 又は 公 民 (現社, 倫, 政経から1科目) 又は 理 科 (理総A, 理総B, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰから1科目) 数 学 (数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1科目) 及び (数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1科目) の計2科目 外国語 (英, 独, 仏, 中, 韓から1科目)	計1科目 【3教科4科目】
	海洋電子機械工学科	数 学 (数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1科目) 及び (数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1科目) の計2科目 理 科 (物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰから1科目) 外国語 (英, 独, 仏, 中, 韓から1科目)	【3教科4科目】
	流通情報工学科	国 語 (国 1科目) 又は 地 歴 (世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1科目) 又は 公 民 (現社, 倫, 政経から1科目) 又は 理 科 (生Ⅰ, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 地学Ⅰから1科目) 数 学 (数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1科目) 及び (数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1科目) の計2科目 外国語 (英, 独, 仏, 中, 韓から1科目)	計1科目 【3教科4科目】

(注1) 「英語」にはリスニングテストを含みます。

(注2) 受験を要する教科・科目について、指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、高得点の教科・科目の成績を用います。

(注3) 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択することができる者は、高等学校若しくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

(注4) 各学科が指定した受験を要する教科・科目のうち1つでも未受験のものがある場合は、個別学力検査は受験できません。

(注5) 本学では、大学入試センター試験の前年度成績は利用できません。

(2) 個別学力検査の教科・科目等

① 前期日程

学部・学科名		個別学力検査の教科・科目名・出題範囲等
海洋科学部	海洋環境学科	数 学 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B[数列, ベクトル])
	海洋生物資源学科	理 科 (物Ⅰ・物Ⅱ[「力と運動」, 「電気と磁気」, 「物質と原子」のうち「原子, 分子の運動」, 「課題研究」], 化Ⅰ・化Ⅱ[すべての内容], 生Ⅰ・生Ⅱ[すべての内容]から1科目)
	食品生産科学科	数 学 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B[数列, ベクトル]) 又は 理 科 (物Ⅰ・物Ⅱ[「力と運動」, 「電気と磁気」, 「物質と原子」のうち「原子, 分子の運動」, 「課題研究」], 化Ⅰ・化Ⅱ[すべての内容], 生Ⅰ・生Ⅱ[すべての内容]から1科目) のうちいずれかを選択 小論文
	海洋政策文化学科	数 学 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B[数列, ベクトル]) 又は 理 科 (物Ⅰ・物Ⅱ[「力と運動」, 「電気と磁気」, 「物質と原子」のうち「原子, 分子の運動」, 「課題研究」], 化Ⅰ・化Ⅱ[すべての内容], 生Ⅰ・生Ⅱ[すべての内容]から1科目) のうちいずれかを選択 小論文
海洋工学部	海事システム工学科	数 学 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B[数列, ベクトル]・数C[行列とその応用, 式と曲線]) 又は (数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B[数列, ベクトル]・数C[行列とその応用, 式と曲線]) のうちいずれかを選択 外国語 (英Ⅰ・英Ⅱ)
	海洋電子機械工学科	数 学 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B[数列, ベクトル]・数C[行列とその応用, 式と曲線]) 又は (数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B[数列, ベクトル]・数C[行列とその応用, 式と曲線]) のうちいずれかを選択
	流通情報工学科	数 学 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B[数列, ベクトル]・数C[行列とその応用, 式と曲線]) 又は (数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B[数列, ベクトル]・数C[行列とその応用, 式と曲線]) のうちいずれかを選択 外国語 (英Ⅰ・英Ⅱ)

(注1) 指定した教科・科目を1つでも受験しなかった者は, 不合格とします。

(注2) 海洋科学部の理科の受験科目は出願時に選択し, 入学志願票の所定の欄に記入してください。
また, 海洋政策文化学科を志望する者は, まず受験教科 (数学又は理科) を選択し, 理科を選択した者は, さらに理科の受験科目を選択し, 入学志願票の所定の欄に記入してください。
いずれの場合も出願後の変更はできません。

(注3) 海洋科学部の個別学力検査の選択教科・科目は, 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目と同じ教科・科目あるいは異なる教科・科目であっても差し支えありません。

(注4) 海洋工学部海事システム工学科及び流通情報工学科の外国語 (英Ⅰ・英Ⅱ) の出題形式は, 和文英訳 (与えられた条件に従って日本語の文を英文に書き換える問題) です。

② 後期日程

学部・学科名		個別学力検査の教科・科目名・出題範囲等
海洋科学部	海洋環境学科	小論文
	海洋生物資源学科	
	食品生産科学科	
	海洋政策文化学科	
海洋工学部	海事システム工学科	理科（物Ⅰ・物Ⅱ[力と運動，電気と磁気，課題研究]） 外国語（英Ⅰ・英Ⅱ）
	海洋電子機械工学科	理科（物Ⅰ・物Ⅱ[力と運動，電気と磁気，課題研究]）
	流通情報工学科	外国語（英Ⅰ・英Ⅱ）

(注1) 指定した教科・科目を1つでも受験しなかった者は，不合格とします。

(注2) 海洋工学部海事システム工学科及び流通情報工学科の外国語（英Ⅰ・英Ⅱ）の出題形式は，和文英訳（与えられた条件に従って日本語の文を英文に書き換える問題）です。

(3) 配 点

① 前期日程

学部・学科名		試験区分	国 語	地 歴	公 民	数 学	理 科	外国語	小論文	配 点 合 計	
海 洋 科 学 部	海洋環境学科	センター 試 験	100	※50	※50	100	100	250	—	600	
		個別学力 検 査	—	—	—	250	250	—	—	500	
		計	100	※50	※50	350	350	250	—	1100	
	海洋生物資源学科 食品生産科学科	センター 試 験	100	※50	※50	100	100	250	—	600	
		個別学力 検 査	—	—	—	150	150	—	—	300	
		計	100	※50	※50	250	250	250	—	900	
	海洋政策文化学科	センター 試 験	100	※50	※50	100	100	250	—	600	
		個別学力 検 査	—	—	—	① ※250	② ※250	—	250	500	
		計	①	100	※50	※50	350	100	250	250	1100
			②	100	※50	※50	100	350	250	250	1100
		センター 試 験	100	50	50	100	50	250	—	600	
		個別学力 検 査	—	—	—	① ※250	② ※250	—	250	500	
計		①	100	50	50	350	50	250	250	1100	
		②	100	50	50	100	300	250	250	1100	
海 洋 工 学 部	海事システム工学科	センター 試 験	200	※100	※100	200	200	100	—	800	
		個別学力 検 査	—	—	—	200	—	200	—	400	
		計	200	※100	※100	400	200	300	—	1200	
	海洋電子機械工学科	センター 試 験	100	※100	※100	200	200	100	—	700	
		個別学力 検 査	—	—	—	300	—	—	—	300	
		計	100	※100	※100	500	200	100	—	1000	
	流通情報工学科	センター 試 験	100	※100	※100	200	※100×2	100	—	700	
		個別学力 検 査	—	—	—	200	—	100	—	300	
		計	100	※100	※100	400	※100×2	200	—	1000	

(注1) 配点に※印を付けてある教科は、選択教科を表します。

(注2) 海洋科学部については、大学入試センター試験及び個別学力検査等の得点は各科目ごとに偏差値に換算します。

② 後期日程

学部・学科名		試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	配点	点計	
海洋科学部	海洋環境学科 海洋生物資源学科 食品生産科学科	センター試験	—	—	—	200	200	200	—	—	600	
		個別学力検査	—	—	—	—	—	—	300	—	300	
		計	—	—	—	200	200	200	300	—	900	
	海洋政策文化学科	センター試験	—	※200	※200	200	※200	200	—	—	600	
		個別学力検査	—	—	—	—	—	—	—	300	—	300
		計	—	※200	※200	200	※200	200	300	—	900	
海洋工学部	海事システム工学科	センター試験	※200	※200	※200	200	※200	200	—	—	600	
		個別学力検査	—	—	—	—	200	200	—	—	400	
		計	※200	※200	※200	200	※200 200	400	—	—	1000	
	海洋電子機械工学科	センター試験	—	—	—	200	100	200	—	—	500	
		個別学力検査	—	—	—	—	200	—	—	—	200	
		計	—	—	—	200	300	200	—	—	700	
	流通情報工学科	センター試験	※200	※200	※200	400	※200	200	—	—	800	
		個別学力検査	—	—	—	—	—	200	—	—	200	
		計	※200	※200	※200	400	※200	400	—	—	1000	

(注1) 配点に※印を付けてある教科は、選択教科を表します。

(注2) 海洋科学部については、大学入試センター試験及び個別学力検査等の得点は各科目ごとに偏差値に換算します。

(4) 採点・評価基準

日程	学部名	教科等	採点・評価基準
前期 日程	海洋科学部	数 学	記述式解答問題を中心とし、解答に至る考え方・道筋も採点評価の対象とします。
		理 科	
		小論文	自然、社会、人間に係わる諸問題について、総合的、批判的に考察し表現する力を評価の対象とします。
	海洋工学部	数 学	全問記述式であり、解答の正確さとともに、論理的思考力を見るため途中経過を重視した評価を行います。
外国語		与えられた条件に従って英文を完成させる問題を出題しますが、採点は英語としての自然さを考慮し、模範解答と異なる場合でも点を与えることがあります。	
後期 日程	海洋科学部	小論文	論旨を首尾一貫させながら、文章全体を論理的にしかも説得力のある形に構成する能力があるか、自然科学的なものの見方を身に付けているか、について総合的に評価します。
	海洋工学部	理 科	問題は記述式と穴埋め式になります。記述式においては解答に至る考え方の論理を重視し、最終的な答えのみでは得点を与えません。問題によっては、完全な解答になっていなくても、論理の道筋があっている場合は、部分点を与えます。
		外国語	与えられた条件に従って英文を完成させる問題を出題しますが、採点は英語としての自然さを考慮し、模範解答と異なる場合でも点を与えることがあります。

(5) 合否判定基準

学部名	合 否 判 定 基 準
海 洋 科 学 部	原則として各学部・学科ごとに、大学入試センター試験及び個別学力検査の得点の合計点が上位の者（同点の場合は個別学力検査の得点が高い者が上位）から順次、大学入試センター試験の科目別得点、個別学力検査の得点、調査書及び健康診断（海洋工学部海事システム工学科及び海洋電子機械工学科志願者に限る。）の結果を考慮して総合的に判定します。
海 洋 工 学 部	

(6) 個別学力検査の実施場所

学部名	実 施 場 所
海 洋 科 学 部	品川キャンパス 〒108-8477 東京都港区港南4-5-7 TEL 03-5463-0510 ※場所の詳細は、裏表紙の「交通の案内」を参照してください。
海 洋 工 学 部	越中島キャンパス 〒135-8533 東京都江東区越中島2-1-6 TEL 03-5245-7315 ※場所の詳細は、裏表紙の「交通の案内」を参照してください。

(注) 遠方からの志願者は、風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程に十分ゆとりを持たせてください。

(7) 個別学力検査の期日・時間

① 前期日程

試験期日		平成23年2月25日(金)			
学部・学科名		時間	教科等	個別学力検査実施場所	備考
海洋科学部	海洋環境学科	10:00~12:00	数 学	品川キャンパス	「本学受験票」及び「大学入試センター試験受験票」を必ず持参すること
	海洋生物資源学科	13:30~15:30	理 科		
	食品生産科学科				
	海洋政策文化学科	10:00~12:00	※数 学		
		13:30~15:30	※理 科		
		16:00~17:30	小論文		
海洋工学部	海事システム工学科	10:00~12:00	数 学	越中島キャンパス	
		13:30~14:30	外国語		
	海洋電子機械工学科	10:00~12:00	数 学		
	流通情報工学科	10:00~12:00	数 学		
		13:30~14:30	外国語		

(注1) ※印は出願時に選択した教科のみを受験してください。

(注2) 海洋工学部において、出願時に提出された健康診断書による検査の結果、精密検査が必要と認められた者は、試験終了後に精密検査を行います。ただし、検査内容によっては試験日当日前に病院等で精密検査を受けて、その結果を提出していただくことがあります。

② 後期日程

試験期日		平成23年3月12日(土)			
学部・学科名		時間	教科等	個別学力検査実施場所	備考
海洋科学部・全学科		10:00~12:00	小論文	品川キャンパス	「本学受験票」及び「大学入試センター試験受験票」を必ず持参すること
海洋工学部	海事システム工学科	10:00~12:00	理 科	越中島キャンパス	
		13:30~14:30	外国語		
	海洋電子機械工学科	10:00~12:00	理 科		
	流通情報工学科	13:30~14:30	外国語		

(注) 海洋工学部において、出願時に提出された健康診断書による検査の結果、精密検査が必要と認められた者は、試験終了後に精密検査を行います。ただし、検査内容によっては試験日当日前に病院等で精密検査を受けて、その結果を提出していただくことがあります。

(8) 健康診断

- ① 海洋工学部海事システム工学科及び海洋電子機械工学科を志願する者は、医師の作成した健康診断書（本学所定の用紙）により審査します。

審査の結果、さらに精密検査を必要と認めた者に対しては、試験当日に該当者に通知し、試験終了後、本学で精密検査を行います。この精密検査を受けなかった者は、不合格とします。ただし、検査内容によっては試験日当日前に病院等で精密検査を受けて、その結果を提出していただくことがあります。

両学科は、授業科目に船舶実習があり、視力、色覚（海事システム工学科のみ）及び運動機能等に条件があります。健康診断にあたっては、下記の〔海洋工学部の健康診断基準〕を参照し、受診するようにしてください。

〔海洋工学部の健康診断基準〕

項目	海事システム工学科	海洋電子機械工学科
視力	両眼（矯正視力を含む。）とも0.6以上であること。	
色覚	色盲又は強度の色弱でないこと。	
聴力	著しい異常がないこと。	
運動機能	重度の運動機能の障害又は身体機能の障害がないこと。	
その他	修学に支障がないこと。（注）	

（注）特に船舶実習に際しては、様々な条件によって履修に支障がある場合があるので、不明な点については、出願前に越中島地区事務室入試係へ問い合わせてください。

さらに、海事システム工学科航海システムコース及び海洋電子機械工学科機関システム工学コースを卒業後、船舶職員となることを志望し、乗船実習科（6か月の課程）に進学しようとする者は、引き続き、次ページの〔水産専攻科・乗船実習科の身体検査基準〕を参照してください。

- ② 海洋科学部に入学し卒業後に、船舶職員となることを志望し、水産専攻科（船舶の運航に関して学ぶ1年の課程）に進学しようとする者は、次ページの〔水産専攻科・乗船実習科の身体検査基準〕を参照してください。

視力が両眼（矯正を含む。）とも0.6以上であること、色盲又は強度の色弱でないこと等が条件になっています。

[水産専攻科・乗船実習科の身体検査基準]

検査項目	身体検査基準
視力 (5メートルの距離で万国視力表による。)	視力(矯正視力を含む。)が両眼共に0.6以上であること。
弁色力 (航海課程に限る。)	色盲又は強度の色弱でないこと。
聴力	5メートル以上の距離で話声語を弁別できること。
疾病及び身体機能の障害の有無	心臓疾患, 眼疾患, 精神の機能の障害, 言語機能の障害, 運動機能の障害, その他の疾病又は身体機能の障害があっても軽症で勤務に支障をきたさないと認められること。

(船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則別表第3準拠)

(9) 海洋科学部の水産教員養成課程について

水産教員養成課程は、全国各地の水産・海洋系高等学校、又は水産・海洋系の学科及びコースを持つ高等学校の教員を養成する課程です。水産教員養成課程に入学した学生は、「教職に関する専門科目」と「所属学科が指定する専門科目」の授業科目を履修し、「水産」の教育職員免許状取得に必要な科目の単位を修得することが卒業要件となります。

水産教員養成課程の募集人員は、海洋環境学科2名、海洋生物資源学科2名、食品生産科学科2名、海洋政策文化学科1名の計7名です。水産教員養成課程の志願者については、はじめにこの7名の別枠で入試を行い、合格者を決定します。この時点で不合格となっても、一般入試(前期日程)の選考対象者となります。

(10) 受験票について

個別学力検査の当日には「本学受験票」及び「平成23年度大学入試センター試験受験票」を必ず持参してください。なお、本学受験票は平成23年2月14日(月)以降に大学から志願者あてに順次発送する予定です。万が一、平成23年2月18日(金)になっても本学受験票が届かない場合は、必ず入試課入試第一係(TEL03-5463-0510)へ申し出てください。

(11) 技術士補の資格について

海洋科学部の卒業者は、修習技術者となり、さらに登録すると技術士補となることができます。企業などで実務経験を4年間経て技術士試験を受験し(海洋科学部の卒業者は、第一次試験は免除されます。), 合格すれば、技術士となることができます。

これは、海洋科学部の教育課程が日本技術者教育認定機構(JABEE)の認定を受けているからです。

技術士は、技術士法に基づく日本の国家資格で、高度な技術教育を受けた人間として社会的に評価されます。技術士の資格を取得すると、独立して技術コンサルタントとして技術事務所を開業したり、就職している場合は企業内技術士として計画、研究、設計などの業務を担当することができます。多くの企業が企業内技術士の重要性を認めています。

6. 合格者の発表

(1) 発表日時

前期日程	平成23年 3月 6日 (日) 10時
後期日程	平成23年 3月23日 (水) 10時

(2) 発表方法

合格者の受験番号を品川キャンパス掲示板、越中島キャンパス掲示板に発表し、合格者あてに合格通知書、入学手続等に関する必要書類を送付します。

なお、本学ホームページ上にも合格者の受験番号を掲載します。(10時30分頃)

ただし、ホームページ上での発表は、参考として閲覧の上、必ず上記の合格者発表により確認してください。

URL: <http://www.kaiyodai.ac.jp/>

電話等による合格、不合格の照会には応じません。

7. 入学手続等

合格者は、郵送または持参のどちらかの方法により入学手続を行ってください。この入学手続を行わなかった者は入学を辞退したものと取り扱います。

(1) 入学手続日時

前期日程	平成23年 3月14日 (月) 13時から17時まで
	平成23年 3月15日 (火) 13時から17時まで
後期日程	平成23年 3月26日 (土) 13時から17時まで
	平成23年 3月27日 (日) 13時から17時まで

※持参による場合は、上記期日に所定の書類を提出してください。郵送の場合は、**速達書留**で、前期日程は平成23年3月15日(火)までに、後期日程は平成23年3月27日(日)までに必着するように東京海洋大学入試課入試第一係あてに送付してください。

(2) 入学手続場所

志望した学部のキャンパスで行います。

※場所の詳細は、裏表紙の「交通の案内」を参照してください。

(3) 提出書類

① 大学入試センター試験受験票
② 本学受験票
③ 卒業証明書 (入学手続日時時点で在学中の場合は平成23年3月31日まで)
④ その他、本学の指定する書類 (合格者に送付します)

(4) 入学に要する経費（予定）

- | | | | |
|-----------|----------|---|-------------|
| ① 入学料 | 282,000円 | } | 年額 535,800円 |
| ② 授業料 前期分 | 267,900円 | | |
| 後期分 | 267,900円 | | |

(注1) 入学手続の詳細については、合格者に合格通知書とともに「入学手続について」の通知文を送付するので、その内容をよく確認して入学手続を行ってください。

(注2) 入学料を金融機関窓口で振り込む際には、運転免許証・健康保険証・パスポートなどの本人確認書類が必要となります。

(注3) 入学手続完了者が事情により入学を辞退した場合、入学料は返還できません。

(注4) 授業料は入学後に徴収します。

(注5) 入学時及び在学中に入学料及び授業料の改定を行った場合は、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

(5) 留意事項

- ① 本学に入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。
- ② 他の国公立大学に入学手続を行った者は、これを取り消して本学に入学手続を行うことはできません。
- ③ 本学の「前期日程」に入学手続を完了した者は、本学の「後期日程」、他の国公立大学の「後期日程」又は公立大学の「中期日程」を受験していても、それらの合格者とはなりません。

(6) 海洋科学部入学試験成績優秀者奨学金制度

海洋科学部では、平成23年度に海洋科学部前期日程入学試験で入学する1年生のうち、入学試験成績優秀者5名に1人30万円の奨学金を支給します。

出願時に申込みは必要ありません。平成23年4月上旬に支給者を決定します。

8. 欠員補充

合格者又は入学手続完了者が入学定員に満たない場合には、前期日程・後期日程共に、下記により欠員の補充を行います。

(1) 追加合格

追加合格の通知は、他の国公立大学に合格していない者及び合格したが入学を辞退した者に、平成23年3月28日（月）から3月31日（木）までの期間に本人あてに電話等で直接連絡します。

なお、海洋科学部において水産教員養成課程に欠員が生じた場合は、出願時の志望の有無にかかわらず、改めて合格対象者に水産教員養成課程での入学の意思を確認します。

(2) 欠員補充第2次募集

- ① 第1次募集による選抜の結果、各学科の入学定員に不足が生じた場合、欠員補充のための第2次募集を実施することがあります。欠員補充第2次募集を実施する場合は、平成23年3月27日（日）以降に本学ホームページ（<http://www.kaiyodai.ac.jp/>）に掲載するとともに、報道機関

により発表します。

- ② 欠員補充第2次募集に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者で、かつ、大学入試センター試験において本学の「前期日程」で課している教科・科目を受験した者です。
 - ・国公立大学を受験したが、いずれの大学にも合格していない者
 - ・国公立大学に合格したが、いずれの大学にも入学手続を行っていない者
 - ・大学入試センター試験を受験したが、いずれの国公立大学にも出願していない者
- ③ 欠員補充第2次募集への出願は、1つの大学・学部に限られます。欠員補充第2次募集の出願後、他の国公立大学へ入学手続を行った場合においては、受験しても入学許可は得られません。

9. 個人情報の取扱い

(1) 入試に係る個人情報の利用

- ① 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、可否及び入学手続等に関する個人情報が、大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
- ② 入学志願票に記載された個人情報は、引き続き入学後の学籍データとして利用します。
- ③ 入学志願票等に記載された内容、入試に用いた試験成績及び提出書類の内容等の個人情報は、入試及び大学教育の改善のための調査・研究、学術研究の資料及び統計的資料の作成にも利用します。調査・研究結果及び統計的資料の発表に際しては個人が特定できないように処理します。

(2) 入学後の個人情報の利用

- ① 入学後、各授業のクラス編成に当たっては、入試に用いた試験成績を利用することがあります。
- ② 入学料免除、第1年次における授業料免除及び日本学生支援機構を始めとする奨学金の選考に当たっては、主に経済的困窮度及び高等学校の学習成績等により行いますが、場合によっては入試に用いた試験成績を利用することがあります。
- ③ 転学部・転学科の選考に当たっては、主に入学後の学業成績により行いますが、入試に用いた試験成績を利用することがあります。

入 試 情 報 開 示

1. 解答例の公開について

(1) 公開方法

本学では、解答例又は出題の意図を品川キャンパスと越中島キャンパスの掲示板及び本学ホームページ上で公開します。また、解答例は、各教科・科目の代表的な解答を例示したものであり、公開した解答例以外の解答も有り得ます。

URL : <http://www.kaiyodai.ac.jp/>

(2) 公開期間

① 前期日程

平成 23 年 3 月 3 日 (木) 10 時から平成 23 年 3 月 11 日 (金) 17 時まで

② 後期日程

平成 23 年 3 月 15 日 (火) 10 時から平成 23 年 3 月 30 日 (水) 17 時まで

(3) 解答例への質問について

① 質問方法

解答例等に質問がある場合は、下記期間内に本学所定の申請書に必要事項を記入の上、本学受験票 (コピー可、受験票を紛失した場合は、本人を確認できる学生証等)、返信用封筒 (本人の住所・氏名を明記の上、書留郵便とし、500 円分の切手を貼った長形 3 号 (約 23.5 cm×12 cm) 封筒) と解答例等に関する質問内容を A 4 サイズの用紙に取りまとめて同封し郵送してください。

※ 解答例等に関する問い合わせは、電話、電子メール及び窓口での対応はいたしません。

② 質問期間

ア 前期日程

平成 23 年 3 月 3 日 (木) から平成 23 年 3 月 11 日 (金) [必着]

イ 後期日程

平成 23 年 3 月 15 日 (火) から平成 23 年 3 月 30 日 (水) [必着]

③ 申請先

〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7 東京海洋大学入試課入試第一係

2. 最高点, 最低点, 平均点の公開について

一般入試（前期日程・後期日程）に係る合格者の成績の総得点（大学入試センター試験と個別学力検査の合計点）の最高点, 最低点, 平均点は本学ホームページ上で公開します。ただし, 各募集学科の受験者が 10 名以下の試験については非公開とします。

URL : <http://www.kaiyodai.ac.jp/>

3. 個人成績の開示について

(1) 開示内容

一般入試（前期日程・後期日程）受験者に対し, 成績の総得点（大学入試センター試験と個別学力検査の合計点）及び順位を開示します。ただし, 各募集学科の受験者が 10 名以下の試験については非開示とします。

(2) 申請手続

① 申請方法

個人成績の開示を希望する志願者は, 下記期間内に 24 ページの本学所定の申請書に必要事項を記入の上, 本学受験票（コピー可, 受験票を紛失した場合は, 本人を確認できる学生証等）と返信用封筒（本人の住所・氏名を明記の上, 書留郵便とし, 500 円分の切手を貼った長形 3 号（約 23.5 cm×12 cm）封筒）を同封し, 郵送してください。

※ 個人成績の開示は, 電話, 電子メール及び窓口では対応いたしません。

② 受付期間

平成 23 年 4 月 18 日（月）から平成 23 年 6 月 20 日（月）[必着]

③ 申請先

〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7 東京海洋大学入試課入試第一係

東京海洋大学入学試験情報開示申請書

平成 年 月 日

東京海洋大学長 殿

(申請者)

住 所	(〒 -)
電話番号	()
フリガナ 氏 名	印
生年月日	年 月 日

下記の私に関する入学試験の成績等についての情報開示を申請します。

記

入学試験年度	平成23年度入学試験		
本学の受験番号		大学入試センター 試験の受験番号	
出願学部・学科	学部		学科
試験種別	一般入試 (A 前期日程 B 後期日程)		
情報開示を申請する内容	1 解答例に関する質問 (質問内容は別添のとおり) 2 個人成績		

※ 該当する項目を○で囲んでください。

(注)

1. 本人確認のため、本学の受験票 (コピー可) を同封してください。
受験票を紛失した場合は、本人確認できる学生証等 (コピー可) を同封してください。
2. 返信用封筒 (本人の住所・氏名を明記の上、書留郵便とし、500円分の切手を貼った長形3号 (23.5cm×12cm) の封筒) を同封してください。
3. 解答例に関する質問内容は、A 4サイズの用紙に適宜まとめて同封してください。
4. 各募集学科の受験生が10名以下の試験に関する情報は非開示です。
5. この申請書は、必要な場合、適宜コピーしてお使いください。

本人確認欄	
1 受験票	
2 学生証等 ()	
申請受理日	年 月 日

東京海洋大学 学生寮のお知らせ

学生寮の概要等

東京海洋大学には2つの学生寮があります。

	「朋鷹寮(ほうようりょう)」	「海王寮(かいおうりょう)」
場所	東京都港区港南4-5-7	東京都江東区越中島2-2-8
入寮募集人数	男子25名程度 女子15名程度	男子45名程度 女子10名程度
部屋の形状	個室 男子 北寮 12.25㎡ 女子 南寮 12.25㎡	準個室(1室を2部屋に区切り2人で使用) 男子 1~3寮 約12.5㎡ 女子 4寮 約12.5㎡
経費 (平成22年3月現在) ※年度により変更になる 可能性があります。	寄宿料 4,700円/月 光熱水費 40,000円/年 入寮費 10,000円/入寮時のみ 居室清掃費等 15,000円/入寮時のみ 学生寮運営のための諸経費 2,000円/月	寄宿料 3,000円/月 光熱水費等 45,600円/年 入寮費 10,000円/入寮時のみ 居室清掃費等 10,000円/入寮時のみ 学生寮運営のための諸経費 2,200円/月
選考方法	通学の困難度(原則として、片道の通学時間が2時間以上の者を優先)と家庭の経済状況(東京海洋大学授業料免除選考基準に準じ算出した「家計評価額」による)を考慮して選考します。	

学生寮へ入寮を希望される場合は、下記により応募してください。

・学生寮の入寮募集要項の請求方法

1. 請求期間：平成23年1月17日(月)～2月10日(木)

2. 請求方法：

- ・直接来学または郵送により請求してください。
- ・郵送の場合は、東京海洋大学宛の封筒に「入寮募集要項請求と朱書き、返信用封筒 [(角形2号：33cm×24cm) に郵便番号、住所、氏名を明記し、240円切手を貼付すること] を同封のうえ、本学学生サービス課学生生活係に請求してください。

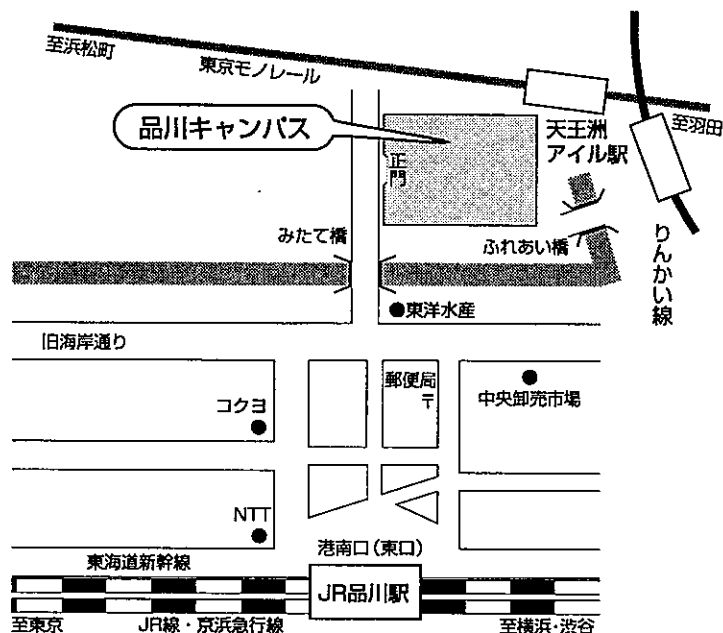
3. 請求及び照会先

- ・住所：〒108-8477 東京都港区港南4-5-7 東京海洋大学学生サービス課学生生活係
- ・電話：(03) 5463-0433

* 入寮願の提出方法及び提出期間、選考結果発表日等の詳細は「入寮募集要項」でお知らせします。

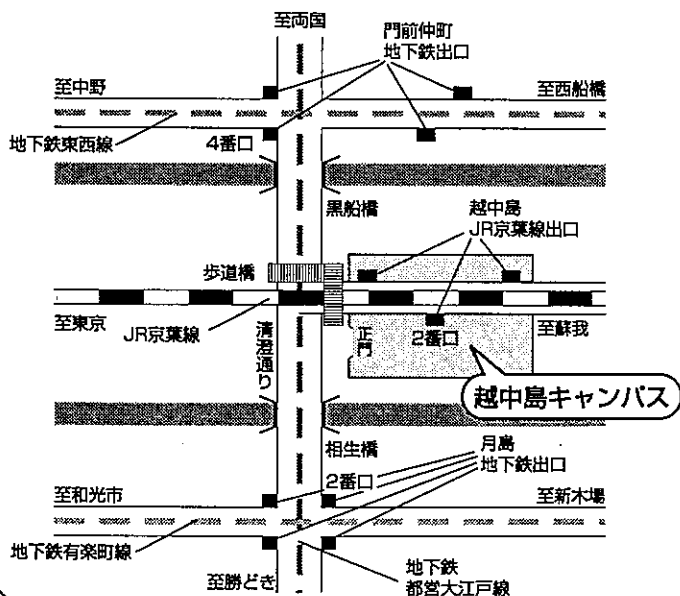
交通の案内

●品川キャンパス(海洋科学部)



- JR線、東海道新幹線及び京浜急行線「品川駅」自由通路港南口(東口)を経て正門まで徒歩約10分。
- 東京モノレール、りんかい線「天王洲アイル駅」から「ふれあい橋」を渡り正門まで徒歩約20分。

●越中島キャンパス(海洋工学部)



- JR京葉線「越中島駅」下車2番出口から徒歩約2分。東京駅から各駅停車で2つ目。新木場駅から各駅停車で2つ目。
- 地下鉄東西線、大江戸線「門前仲町駅」下車4番出口から徒歩約10分。
- 地下鉄有楽町線、大江戸線「月島駅」下車2番出口から徒歩約10分。



—— 学生募集要項に関する問い合わせ先 ——

○海洋科学部（品川キャンパス）

〒108-8477

東京都港区港南4-5-7

東京海洋大学入試課入試第一係

TEL 03-5463-0510

○海洋工学部（越中島キャンパス）

〒135-8533

東京都江東区越中島2-1-6

東京海洋大学越中島地区事務室入試係

TEL 03-5245-7315

URL : <http://www.kaiyodai.ac.jp/>